

## 2021年3月にカナダから日本へ帰国された方の体験談

(下記情報は、3月16日に当地在留邦人から提供されたものです。あくまで一例で状況により変わることにご留意ください。)

### 【PCR検査についての経験】

私は現在日本に一時帰国中です。(4月中旬にMontrealに戻る予定です。)

3/10にMontrealを出発し、3/11に日本に到着しました。

PCRスクリーニング検査はMirabelにて3/8に受検し、3/9にメールにて結果を受け取っています。

以下、検査についての経験を記述致します。

場所：MedFuture (18005 Rue Lapointe #405, Mirabel)

費用：185CAD

プロセス：

(1)3/4にMedFutureのホームページにて受検日時を予約しました。必要情報を記入する必要がありました。

(2)日本政府所定フォーマットをプリントアウトしておきました。

(3)3/8当日に現地に出向き(ドライブスルー)、所定フォーマットとパスポートを手渡し、手続き後パスポートは返却されました。

ドライブスルーはクリニックの外に仮設テントのようなものが設置されており、自動洗車場のようなプロセスで、洗車の代わりに検査をする、というイメージでした。

(4)車に乗ったまま検体を採取し、検査完了しました。(鼻咽頭ぬぐい液採取、全部で5分程度でした)

(5)翌日3/9に検査結果をメールにて受信しました。所定フォーマットに結果が記載されるものと期待していたのですが、クリニックのフォームでした。

プリントアウトし、余白部分にパスポート番号、国籍、性別を手書き記入しました。(なお、検査手法や結果等、クリニック側で記入が必要な情報は明記されていません)

### 【カナダから日本への帰国の際の経験】

3月10日モントリオールからバンクーバー経由で移動、3月11日に日本に到着しましたが、各ポイントでの経験を共有致します。

#### <モントリオール空港>

・8:00発の飛行機だったため、6:30に空港に到着。カウンターには乗客はほとんどいませんでした。空港に入ってから基本的にはずっとマスクを着用していました。

・Air Canadaのカウンターでパスポート、e-ticketを提出しましたが、COVID-19の陰性証明の提出を要求されました。また厚生労働省の質問票のQRコードの提示を要求されました。質問票のことを知らなかったため、その場でスマホにて登録、QRコードを取得し提示しました。事前に登録、QRコードを取得しておくことをお勧めします。

参考：<https://www.forth.go.jp/news/000063743.pdf>

・チェックインした荷物は日本までピックアップ不要である旨確認し、搭乗券を2枚（モントリオール→バンクーバー、バンクーバー→羽田）受領して、チェックインを完了しました。

・セキュリティチェックポイントにはほとんど人がおらず、スムーズに完了しました。

バンクーバー行きのゲート付近は結構人がいました。

・機内で食事が出ないとのことでしたので、昼食（サンドイッチ）を売店で購入しました。

・飛行機に搭乗の際は搭乗券、パスポートを提示しますが、顔確認のためマスクを一時的に外すことを要求されました。

#### <モントリオール→バンクーバーの飛行機の中>

・エアカナダの機体はA330-300でした。エコノミークラスでは座席配置が2-4-2 (AC-DEFG-HK)のうち乗客が座っていたのは基本的にA, D, G, Kでした。（搭乗率は50%程度）

・カートサービスは飲み物のみでした。不織布マスク、プレッツェル、ビスケット、ヘッドホン、除菌シート、ハンドサニタイザー、水の小ペットボトルが入っているセットが配られました。

・やはり食事は出ませんでしたので、モントリオール空港の売店で昼食を買っておいたのは正解でした。

・A330-300ではIFE (In Flight Entertainment System) を利用できましたので、映画等を楽しむことができました。

### <バンクーバー空港>

- ・降機してから羽田行きの ANA 便の搭乗ゲートを確認。到着は C ゲート、出発は D ゲートでしたが、セキュリティチェックポイントから外に出ることはなく、モントリオール空港内で購入した水のペットボトル、機内で配られた水のペットボトル等はそのまま持っていることができました。
- ・国内線から国際線へのポイントでは係員がいましたが、目的地と搭乗券を確認されたのみでスムーズに通過しました。
- ・国際線ゲートでは、エアカナダのメープルリーフラウンジは一時的に休業中でした。ANA のホームページではプラザプレミアムラウンジが掲載されておりますが、当ラウンジも使用できませんでした。ANA 係員に確認したところ、コロナの影響で一時的にラウンジが使用できなくなっているとのことでした。ラウンジでオープンしていたのはスカイチームのラウンジだけだったようです。
- ・仕方なく出発ゲート近くで長時間待機しました。待機している人の数は非常に少なかったです。
- ・待機中に放送にてカウンターに呼び出され、パスポート、搭乗券、COVID-19 陰性証明、質問票の QR コードの提示を要求されました。これは全員が対象のようでした。
- ・飛行機への搭乗順はクラス、エリートステータスに関係なく、後部の座席より搭乗案内されました。

### <バンクーバー→羽田の飛行機の中>

- ・ANA 便は B787-9 でしたが、搭乗率はビジネスクラスで 25%程度、エコノミークラスは本当に少なく 10 組程度しか搭乗していなかったようです。
- ・機内サービスは普段と変わりませんでした。快適に過ごせました。
- ・機内で健康カード、誓約書等の書類が配布されましたので、その場で記入しました。入国審査時に必要となります。

参考 : <https://www.forth.go.jp/news/20201101.html>

### <羽田空港>

- ・降機後、案内に従って検疫に進みました。到着ゲートから検疫までかなり距離がありました。歩く歩道と逆方向の通路もあり、基本的に徒歩でした。検疫では書類審査、PCR 検査が実施されますが、ステップに分かれており基本的に迷うことはありませんでした。パスポート、機内で記入した書類、COVID-19 陰性証明、質問票の QR コードの提示が必要でした。
- ・私の場合、実際に要した時間（タイムスケジュール）は以下の通りでした。

降機（18:40）→PCR検体採取（18:50）→PCR検査結果判明（19:50）→税関通過・到着ロビーから出る（20:00）

以上、参考になれば幸いです。